

2. 指標設定

成果指標	指標名	社会教育の推進		H27	指標の設定理由				
	数値	—			総合計画／後期基本計画において、基本施策(1-3-3)の重点施策としているため				
活動指標	指標	a	郷土の先輩特別授業	b	子ども郷土芸能大会	c	成人式	d	次代を担う「豊後大野っ子」を育てる市民のつどい
	数値	目標	1回7校／年	目標	1回／年	目標	1件／年	目標	1回／年

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
社会教育の推進		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 郷土の先輩特別授業	回	1回	1回	1回
		100.0%	100.0%	100.0%
b 子ども郷土芸能大会	回	1回	0回	1回
		100.0%	0.0%	100.0%
c 成人式	件	1件	1件	1件
		100.0%	100.0%	100.0%
d 次代を担う「豊後大野っ子」を育てる市民のつどい	回	1回	1回	1回
		100%	100.0%	100.0%

4. 課題と対応

課題
青少年健全育成を推進するうえで家庭・地域の役割は大きく、これらの教育力の向上に向けた施策の効果的な実施が求められている
対応（改善点等）
社会教育と学校教育の連携を推進し、学校支援の事業を実施する

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

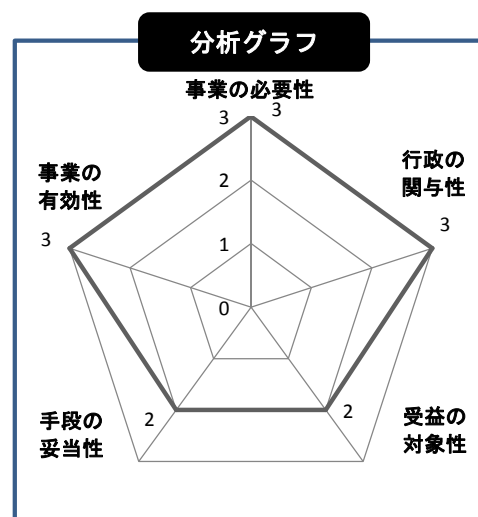
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		2,878	2,083	2,507	4,891
うち経常経費		1,294	971	1,160	3,676
財源内訳	国費				
	県費	573	392	488	404
	市債				
	その他	562	273	819	3,188
	一般財源	1,743	1,418	1,200	1,299
うち経常		1,294	971	793	938
事業費に係る人件費		16,862	9,417	8,974	9,546
事業費に係る人役		3.85	2.19	2.09	2.19

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
豊後大野市の未来を担う子どもたちに多様な事業提供のため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 将来の明るい社会構築のため、次世代を担う青少年健全育成事業が必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 行政が責任を持った取り組みが必要のため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 放課後子ども教室事業は緒方小学校に限定されているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 豊後大野っ子のつどいの開催要項に検討の余地がある
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 予定通りの事業を実施し、一定の効果を上げることができた



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	課題に対応するとともに経費の一層の削減に取り組むこと。